

事務事業名		栃木県連合戸籍事務協議会参画事業					評価区分(事前評価・事後評価)		事後評価(A・B表)		
政策体系	基本目標	5 市民みんなでつくる夢のあるまちづくり					担当	担当部	市民生活部	担当課	佐野総合窓口課
	政策	2 自立した行政経営によるまちづくり					組織	担当係	戸籍係	担当課長名	永瀬明子
	施策	1 効率的な行政経営の推進					新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	2 効率的・効果的な事務事業の推進と組織編成					実施計画事業・一般事業		一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	3020	一般	2	3	1	栃木県連合戸籍事務協議会参画事業					
	事業区分						市単独事業・国県補助事業		市単独事業		
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	S43年度～ 年度			根拠法令 条例等	栃木県連合戸籍住民基本台帳事務協議会会則				
	事業区分						任意的事業・義務的事業		任意的事業		
	事業区分						実施方法		直営		
事業区分						事業分類		参画事業			
事業区分						リーディングプロジェクト		該当なし			
事業区分						市長マニフェスト		該当なし			

1. 事務事業の現状把握[DO]

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)												
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)						平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)						
栃木県連合戸籍住民基本台帳事務協議会に会員として負担金を支出している。また、協議会主催の会議や研修会に参加し、戸籍及び住民基本台帳事務に関する情報収集や意見交換を行っている。 ※栃木県連合戸籍住民基本台帳事務協議会とは、戸籍及び住民基本台帳事務に関する事務の研究改善推進を目的とし、宇都宮地方法務局管内の戸籍事務管掌者及び住民基本台帳事務担当者が構成している団体である。						(市の活動) 栃木県連合戸籍住民基本台帳事務協議会への負担金の支出並びに会議や研修会へ出席し知識の習得、情報収集を図る。平成24年度から、足利支局管内戸籍住民基本台帳事務協議会の事業を含める。 (栃木県連合戸籍住民基本台帳事務協議会の活動) 総会と研修会並びに全国組織の研修会への出席						
活動指標						単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)	
会議						人	11	11	11			
研修会参加者						人	19	19	19			
月例会						人	39	39	39			
② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)												
市職員(戸籍及び住民基本台帳事務担当職員)						対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)
(課長3、戸籍4、届出12、支所4、田沼5、葛生4)						対象職員数	人	32	32	32		
(参画対象団体)												
栃木県連合戸籍住民基本台帳事務協議会												
目的												
③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)						成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
戸籍及び住民基本台帳事務担当職員の資質向上を図る。						他市の状況や最新情報を得られると回答した対象職員の割合	%	100	100	100		
						協議会参画が有意義であると回答した職員の割合	%	100	100	100		
④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)												
総合計画に基づいた効率的・効果的な事務事業の執行を推進するとともに、それに向けた組織編成がなされる。						上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
						休廃止した事務事業数	事業	130	89	115	110	105
						見直しの図られた事務事業数	事業	465	498	595	590	585

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)	
	国庫支出金	千円						
	県支出金	千円						
	地方債	千円						
	その他	千円	15	15	15			
	一般財源	千円						
	事業費計(A)	千円	15	15	15	0	0	
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			負担金	15	負担金	15	負担金	15
人件費	人	4	4	4				
のべ業務時間	時間	353	353	353				
人件費計(B)	千円	1,374	1,391	1,391	0	0		
トータルコスト(A)+(B)	千円	1,389	1,406	1,406	0	0		

事務事業名	栃木県連合戸籍事務協議会参画事業	担当部	市民生活部	担当課	佐野総合窓口課	担当係	戸籍係
-------	------------------	-----	-------	-----	---------	-----	-----

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	昭和43年7月に、戸籍、住民基本台帳及び外国人登録事務に関する研究、改善、進歩を図るため組織された。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	合併が進み、対象となる市町村が減少した。個人情報保護の観点から、戸籍法や住民基本台帳法の改正が行われ、窓口での対応がより複雑になってきた。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	なし

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	
	結びついている	理由・改善案 研修会等の参加により知識の習得及び情報収集ができ、担当する事務を適正に処理できる。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	
	市が行わなければならない	理由・改善案 法定受託事務である戸籍、住民基本台帳事務を適正、迅速に行い、かつ、担当者の共通理解のために必要である。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	
	妥当である	理由・改善案
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	
	成果向上余地がある程度ある	理由・改善案 研修会等の参加により知識の習得及び情報収集ができ、担当する事務を適正に処理できる。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	
	類似事務事業はない	理由・改善案 類似事務事業名
	*類似事務事業があれば、名称を記入	
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	
	削減の余地はない	理由・改善案 会員としての負担金であり削減できない。
公平性 評価	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	
	受益者負担を求める必要がない	理由・改善案 会員としての負担金であり、受益者負担は考えられない。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)	
	戸籍事務管掌者の知識の習得や情報収集の協議会であり、廃止できない。	

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																		
現状維持(従来通り実施)	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。																			
* 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)	<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上			維持	○	×	低下	×	×	
	コスト																			
	削減	維持	増加																	
成果	向上																			
	維持	○	×																	
	低下	×	×																	